

豊富な資源に可能性を秘める

再生可能エネルギーフォーラム

2月27日中央公民館で、「豊浦町再生可能エネルギーフォーラム」が開催されました。

町で高岡に建設中のバイオガスプラント整備事業、民間会社サム・ライ・エナジー（株）が豊泉に建設中の太陽光発電事業の紹介、「再生可能エネルギー：未来へのチャンスとチャレンジ」と題して東北工業大学の矢野篤男氏の講演、そして、「豊浦町のこれからと再生可能エネルギー」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

今回は、パネルディスカッションを中心に話された概要をお伝えします。



▲高岡地区に建設中のバイオガスプラント



施設園芸農家
菊地 健永さん

一番期待しているのは、安全性です。作物を食べてもらうには、安全な物を作りたい。どこの誰が作っているのかわかっている物を食べたいのが本心と思います。肥料も同じです。町内の酪農家さんからでた家畜のふん尿を原料としてバイオガスプラントによりできた液体の肥料を使えるのは、信頼できて安心です。

今後、冬のハウス栽培でバイオガスを利用することにより、新たな雇用創出にも期待できるので、バイオガス事業は、いろいろな発展につながると考えています。

